NIE実践報告

1．タイトル：卒業時に新聞を読む人になろう

2．学校名

愛知県立春日井高等学校(定時制)

3．実践者名（代表者名）

渡辺　裕之

4．学年

第1、2、4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科･総合的な学習の時間　約70人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読む人になろう

7．目標（狙い）

新聞学習により、視野を広め、社会での居場所を発見し、卒業時に新聞を読む人になる。
主権者として必要な知識･能力を養う。

8．評価の視点

新聞に興味を持つことが出来たか。主権者に必要な知識･能力を持ちえたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

社会科(現代社会･地理A･日本史A)の冒頭の10分間
総合学習　1単位通年　29時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1.社会科授業の冒頭、毎時間、話題になっている新聞記事をコピーして配布し、教員が読み解説する。質問には具体的かつ丁寧に応答する。内容の理解にとどまらず、対立する見解にも触れる。
2.総合学習
　新聞を一部ずつ配布し、生徒は興味ある記事を切りぬく。B4プリントに貼付し、要約、感想を書く。翌週、教員が添削し、コメントを書き返却する。
　テーマは自由選択と指定するときがあった。前者ではスポーツと犯罪の記事が大多数を占めるので、生徒が要領をつかんだ段階でテーマを指定した。(1、2学期22時間)
　3学期は新聞学習の発表およびそのための準備の時間である。1、2学期に要約･感想を書いたプリントを見返して、それに関連した記事を選び、テーマをふかめB4判1枚にまとめたい。発表(スピーチ)は1年生全員の前で行う。(3学期7時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　いままで新聞を読んだことはほとんどありませんでした。けれども授業で新聞を読むことで、いろいろな事件や出来事を知りました。新聞は事件だけでなく、体験話があったりするから、それが楽しいなと思いました。(生徒のTさんの感想文より)

12．成果と課題

　新1年生は入試制度の変更と深刻な不況のせいか、従来の「再チャレンジ」を目指す年齢層の幅広い生徒から、大部分が中学からのストレート組で占められることになった。そのため学力不足と幼稚さが目立ち、2学期になっても総合学習の時間ですら新聞を開くのを面倒がる者が多い。しかしながら、根気よく声かけを続けることで漸く高校生らしいテーマ設定が可能になってきたところである。
　来年度も同様な傾向が続くならば、一部の生徒には新聞学習と並行して、新聞を読むために不可欠な基礎学力を担保する方法を準備する必要があろう。